



STANDARD
TOKYO

2023年11月9日

各 位

会社名 株式会社セブテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
(東証スタンダード コード番号 4293)

株主還元方針の変更及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記の通り株主還元方針の変更について取締役会決議を行いましたので、お知らせいたします。

また、今回の方針変更に伴い、これまで未定としておりました2023年12月期期末配当予想について下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更について

(1) 変更理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しております。

この度の変更においては、配当方針における連結配当性向および1株当たり年間配当金の下限設定を引き上げることにより、株主の皆様への利益還元を強化してまいります。

さらに、自己株式の取得に関する考え方についても明文化することで、当社の株主還元方針に対する姿勢をより明確にし、今後の株主価値、企業価値向上へつなげてまいります。

(2) 変更内容

変更前	変更後
剰余金の配当につきましては、各事業年度の連結業績、財務体質の強化、今後のグループ事業戦略等を考慮して、親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向15%程度を目安とし、当社の分配可能額の範囲内で利益還元を実施してまいりたいと考えております。	剰余金の配当につきましては、各事業年度の連結業績、財務体質の強化、今後のグループ事業戦略等を考慮して、親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向25%程度を目安とし、当社の分配可能額の範囲内で利益還元を実施してまいりたいと考えております。
さらに、原則として1株当たり年間配当金の下限を2円と設定することで、業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、配当の継続性・安定性にも配慮してまいります。	さらに、原則として1株当たり年間配当金の下限を3円と設定することで、業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、配当の継続性・安定性にも配慮してまいります。
また、内部留保金につきましては、成長性・収益性の高い事業分野への投資とともに、既存事業の効率化・活性化のための投資及び人材育成のための教育投資として活用してまいります。	また、内部留保金につきましては、成長性・収益性の高い事業分野への投資とともに、既存事業の効率化・活性化のための投資及び人材育成のための教育投資として活用してまいります。
	自己株式の取得については、市場環境や事業への投資機会、資本効率、株価水準等を総合的に勘案の上、継続的に検討を行い、機動的に実施してまいりたいと考えております。

(3) 配当方針変更の時期

2023年12月期（当期）の期末配当より適用いたします。

2. 2023年12月期期末配当予想について

(1) 修正内容

	年間配当金（円）					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—	—
今回発表予想					4.60	4.60
当期実績	—	—	—			
前期実績 (2022年9月期)	—	—	—	—	4.60	4.60

(2) 修正理由

上記の配当方針の変更に伴い、これまで未定としていた2023年12月期期末配当予想を1株当たり4.60円に修正いたします。

(ご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■本件に関するお問合せ先

経営企画部 IR課 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp